

会 議 概 要

会議の名称	第2回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会
開催日時	令和3年4月27日（火） 17時00分 開会 18時40分 閉会
開催場所	文化センターさざ波 中会議室
出席者名	委員：工藤専門部会長、岩佐・深谷・黒田・澁谷各委員 策定委員：尾山課長、坂本課長、中島館長、佐藤室長 事務局：因課長、西海谷主幹、高尾主査
欠席者名	古川・黒川各委員
傍聴人の数	無し
会議の内容	1. 開会 2. 会議成立報告 3. 部会長あいさつ 4. 前回審議内容の確認について 5. 基本計画の審議について （1）学校教育 （2）社会教育 （3）図書館 （4）博物館・文化財 （5）芸術文化 （6）スポーツ 6. 次回会議日程について 7. 閉会
会議資料	第2回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会議案 資料1 第3期 湧別町総合計画（諮問案） 第1回 教育文化専門部会 審議状況（R3.4.13） 第1回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会会議録
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

1 (てん末書用紙)

てん末書

1 日 時

令和3年4月27日(火) 午後5時00分から午後6時40分

2 会 場

文化センターさざ波 中会議室

3 会議及び用務

第2回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会

4 出席者

委 員

工藤専門部会長、岩佐・深谷・黒田・澁谷各委員

※欠席：古川・黒川各委員

策定委員

尾山課長、坂本課長、中島館長、佐藤室長

事 務 局

因課長、西海谷主幹、高尾主査

5 結果要旨

第3期湧別町総合計画審議会における第2回目の教育文化専門部会を開催しましたので、報告いたします。

1. 開会

2. 会議成立報告

3. 部会長挨拶

4. 前回審議内容の確認について

前回会議の審議内容について、事務局から説明。

※質疑及び意見無し。

5. 基本計画の審議について

工藤部会長から、会議時間(概ね2時間)及び議事進行方法(項目ごとの説明と審議)について提案し、委員からの異議なく審議に移る。

(1) 学校教育 (2) 社会教育

前回会議で未決となっていた項目等について、事務局修正案・追加案を提示。質疑及び意見無く修正案を承認。

(3) 図書館

【質疑・審議(現状と課題)】

工藤部会長) 湧別図書館と中湧別図書館どちらの利用率が高いか。

2 (てん末書用紙)

⇒ 中島館長) 令和元年度の入館者数を比較しますと中湧別図書館13,667人、湧別図書館6,078人となり、地区別では湧別地区の方が54%、中湧別地区の方が30%、上湧別地区の方が15%で、湧別地区の方も中湧別図書館を利用している状況です。

工藤部会長) 施策の中でデジタル化とありますが、以前出向いた際にパソコンが1台あったが、パソコンを持っていない子どもたちのためにもっとパソコンがあってもいいのではないかと。

⇒ 中島館長) Wi-Fi環境を整備したことにより、端末を持っている方は利用できるようになってきている。各図書館にパソコンは1台ありますが、実態としては娯楽に使う方が多いです。図書のデジタル化については利用できる蔵書数が少ないので、周辺の図書館の様子をみている状況です。

⇒ 工藤部会長) 町民の憩いの空間として利用されることを考えると、北見だとカフェが併設されているけど、湧別では人口も少なく行く人も少ないのでなかなか難しいですね。

⇒ 中島館長) カフェではありませんが、セルフ方式でのお湯やインスタントコーヒーを用意していて、昔は飲食禁止だったんですが、今は飲みながら、憩いの場となるようにやっています。

⇒ 深谷委員) Wi-Fiが整備されているのはいいですね。著作権がきれた青空文庫などの図書をデジタル化して、タブレットを貸し出すことができれば見ることができそうですよね。

⇒ 工藤部会長) 情報通信での貸し出しがあってもいいのでは。

⇒ 中島館長) 家庭でも映画等を見られる環境が整ってきていますので、やはり図書館は限られた予算の中で蔵書を増やして行って、本という実態のあるものを見てもらう場として活用してもらえればと思っている。また知の蓄積としての役割もあるので、本に親しんでもらい、本を読んでもらうことを中心に考えている。デジタル化が進むと、図書館から足が遠のいてしまうことになるので、Wi-Fiを整備することによって、その中間を目指しているところです。

工藤部会長) 読書感想文コンクールが廃止になった経過を教えてください。

⇒ 中島館長) 廃止については学校ではなく図書館で決めまして、子どもたちも他の課題がある中で、大きな負担でありまして、そのような話は学校の先生方からも聞いています。図書に親しんでもらうきっかけとして朝読書活動等に力を入れていきます。

⇒ 深谷委員) 読書は習慣が付かないと読まないよね。

黒田委員) 学校図書館とは何ですか。

⇒ 深谷委員) 図書館ではなく図書室ですね。上湧別中学校の場合は教科別の各教室に関連する図書を配置している。朝読書では移動図書館車に本を届けてもらっています。図書館には図書の整理の仕方を教えてもら

3 (てん末書用紙)

ったり、ポップを作っていたいたり、予算で図書を購入する際には本が傷つかないようにビニールをかけてもらったり、仕分けもしていただいている、非常に助かっています。

⇒ 黒田委員) 他の学校に図書室はないのですか。

⇒ 中島館長) 蔵書数や規模の状況は異なりますが全学校にあります。図書館司書が各学校を回って収蔵図書の管理などを手伝っています。ゆくゆくは図書館システムの中に入れて、図書館の図書と同じく貸し出せていければと考えていることから連携として記載しています。

【質疑及び審議 (10年後のめざす姿)】 質疑及び意見なし

【質疑及び審議 (主要施策)】

工藤部会長) 以前、夜間開館もやっていたよね。

⇒ 中島館長) 以前は行っていましたが、あまり利用がなくて廃止しました。目的としては仕事終わりに来られるようにと実施したものでしたが、実際には働いている方は休日に来られ、高齢者や小さいお子さん連れの方は夜には来られないので、利用者がほとんどいなかったことから、日中のみの開館としています。

⇒ 工藤部会長) 限られた人しか利用していないと思うので、利用される方を増やすには、小さい時から読んでもらうことを充実する必要がありますよね。

⇒ 中島館長) 絵本クラブやブックスタートで、本や図書館をPRしています。

⇒ 工藤部会長) その辺を充実させていただいて、小さいころから読めば効果は抜群だと思うので、そのようなことを文言として強く表記した方がいいのではないかと。主要施策の中にサービスの拡充ということを追記ということ。

⇒ 深谷委員) 方向性としてはそういうことでもいいのではないのでしょうか。

⇒ 工藤部会長) そのようなことでよろしいでしょうか。

⇒ 委員一同) はい。

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見なし

(4) 博物館・文化財

【質疑・審議 (現状と課題)】

工藤部会長) 現状として、大学とか研究機関とかの連携はあるんですか。

⇒ 中島館長) 北見市常呂を拠点に東大の研究室があり、たまに埋蔵文化財の研

4 (てん末書用紙)

究に來られたり、また北大の地質研究室からもシブノツナイに土壌の分析とかで來られることがありますので、その際には協力しています。ただ、あくまでも研究ですので、定期的ではなく、継続されるのかは不明で、研究内容によっては他地域に移行する可能性もあることから明確には書けなかったところです。

⇒ 工藤部会長) 知らない町民も多いので、文章にすることで知ってもらえる。

⇒ 中島館長) そうですね。

⇒ 深谷委員) シブノツナイ遺跡を凄いと思ってもらえる。

⇒ 中島館長) 遺跡の活動説明会には50名ぐらい來てもらえるなど、関心が高いので、発掘調査の成果を新聞報道等で広めていただいたりして、広報などでもアピールしていきます。

⇒ 工藤部会長) 学校では見学とかはしていませんかね。

⇒ 澁谷委員) シブノツナイ遺跡を見に行ったり、学芸員に説明も受けています。ちなみに、シブノツナイ遺跡のことはよく分かっていないのですよね。

⇒ 中島館長) そうですね。住居跡はたくさん残っているのですが、どの時代のものが多いとか、なぜあの場所にあるのとかは分かっていません。今は擦文時代と縄文時代の間の時代のものではないかと予測して発掘調査を行っている状況です。

⇒ 澁谷委員) 子どもたちは遺跡の穴を見て家があったとの説明を受けた後に予想図とかがあればイメージもつきやすい。突拍子もないことをいえば、バーチャル映像があれば3年生は白老町のウポポイを見学に行くので、その際には何かあれば比較しやすいかなと思っています。

⇒ 中島館長) 有名な遺跡で例えば「モヨロ貝塚」などにはガイダンス施設があって、再現物があったりするんですが、今おっしゃられたようにデジタルでということであれば、ハードが無くてもいいので、考えたいと思います。

⇒ 工藤部会長) そのような方向性で盛り込んではどうか。

⇒ 深谷委員) そうですね。方向性として。

⇒ 工藤部会長) そのような方向性を持っているということで盛り込みたいと思いますので、よろしくお願いします。

【質疑及び審議 (10年後のめざす姿)】 質疑及び意見なし

【質疑及び審議 (主要施策)】 質疑及び意見なし

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見なし

5 (てん末書用紙)
(5) 芸術文化

【質疑・審議 (現状と課題)】

工藤部会長) 今後10年を考えると団体・組織の維持は難しいですよ。

⇒ 深谷委員) 横のつながりが結びつきづらいですよ。学校の部活で文科系のものは吹奏楽だけで演劇部はないですよ。

⇒ 澁谷委員) 吹奏楽部のみですよ。子どものいない状況なので。

⇒ 深谷委員) 町民芝居ゆうべつを通じて演劇に興味を持った子も知っているの、そういう芽があれば育てていきたいよね。

⇒ 澁谷委員) 学校祭は短期間で集中してできますが、部活動となると教えられる先生もいなく、また目標設定やモチベーションを保てないことが心配されます。より専門的な人がいないと難しいですよ。

⇒ 深谷委員) 以前にはワークショップが何回かありましたが、そういうのがあってもいいですよ。また、図書館で絵本を作る体験とか、体験することが重要ですよ。町内には思いもかけない技術を持った人が埋もれていると思いますし、横幕さんとかドローンで撮影した映像はすごかったですね。

⇒ 工藤部会長) 時代に合ったドローンとか新しい技術を使ったものとか、新文化との融合になりますね。

⇒ 岩佐委員) デジタル化が進むことによって芸術文化がこれまでと全く違う価値のものになるかもしれない。想像力を持って心の豊かな社会を求めて、進めていかなくてはいけないかもしれませんが、なかなか難しいですよ。

⇒ 尾山課長) 学校ではGIGAスクール事業で児童生徒1人1台のiPadを整備しまして、芸術文化の面では絵を描いたり、作曲もできる、動画制作もできるので、ICT道具を使った芸術が進んで、SNSなどを通じて、大人の想像もつかない才能が発揮されるかもしれませんが、学校でそれだけをやることにはならないですよ。

⇒ 深谷委員) ライブで、その場の息遣いや鼓動が伝わってくるものは、モニター越しのものとは違うものなので、実際に体験しないとわからないものもありますよね。

⇒ 尾山課長) 変わっていくのは間違いないと思いますが、ICTばかりではなく、そこは冷静に判断する必要があります。

⇒ 深谷委員) そうですよ。軌道修正がきかなくなることがありますので。

【質疑及び審議 (10年後のめざす姿)】 質疑及び意見なし

6 (てん末書用紙)

【質疑及び審議 (主要施策)】

深谷委員) 文化施設の充実にある文化センターのすみ分けとはどういったものでしょうか。また、遠軽町の新施設と競合するのか。

⇒ 坂本課長) 公共施設再配置実行計画という計画を作りまして、文化センターが2つあるということではなくて、それぞれの特徴を持たせて、さざ波は文化ホールとして発表や演芸をやる施設として、TOMはコミュニティセンターとしての集会施設として整理しようと考えています。両施設とも老朽化が進んでいますので、既に修繕については、例えば照明などもすみ分けをしてTOMの方は抑えるなど経費を節減した中で有効に活用していこうとしているところです。

⇒ 深谷委員) 遠軽町の新施設は脅威なんですか。

⇒ 坂本課長) 遠軽の施設は固定席700弱ぐらいです。ただ、張り合う必要がないと思っております。同じ生活圏ですので、大きいイベントは遠軽でやってもらって、町民が出向いていくのもいいのではないですかね。

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】

深谷委員) 満足度の不満が11.9%とあるが、湧別町の芸術文化は充実していると思うのですが、その不満の内容は何でしょうか。

⇒ 西海谷主幹) アンケートの設問として、4つの項目から選んで回答してもらってまして、申し訳ありませんが、どういった想いで書いていただいたのかまではわかりません。

(6) スポーツ

【質疑・審議 (現状と課題)】

黒田委員) スポーツ合宿の誘致について、実際に来てくれる団体は空手や柔道で少年団が無いスポーツなのが残念だと思っている。

⇒ 深谷委員) どういった分野が望ましいですかね。

⇒ 黒田委員) 少年団のあるスポーツです。バスケットボールの登栄床の関野剛平くんとか、プロになっていなくても名前は知らなくてもすごい技術を見せれば、子どもたちも自分がやっているスポーツだからもっと頑張ろうと思うんですよね。

⇒ 工藤部会長) 湧別町は施設的に充実していませんよね。

⇒ 深谷委員) 湧別町の食は良いという話は聞いているんですけどね。

⇒ 工藤部会長) 現状としては関係者のみの交流なので、いかにふれ合いを持つかが課題なのかな。

黒田委員) 運動指導職員の原さんが家でもできるストレッチとかを紹介しており、施設に行けない人をサポートしているので、継続してもらいたい。

7 (てん末書用紙)

⇒ 岩佐委員) 体育館のトレーニング機器は充実してきているが、使い方がわからない人も多い。いつものメンバーが揃っていて行きづらいと思っている人もいる。例えば、QRコードを読み込めば説明書が出てくるようになれば使い方もわかるんじゃないかな。

⇒ 坂本課長) 先日、運動指導の様子を見てきましたが、運動を始めてみようと思って来られた方には、やはり器具の使い方がわからないと思う。そこに人がいれば助かると思う。

⇒ 工藤部会長) 利用者個人個人に沿った運動プログラムが必要ですよね。

⇒ 坂本課長) 今も運動指導職員が性別や年齢、体力年齢に応じて個別に対応していますが、現状、コロナで12人に人数制限しています。常連が多くて入りづらいと感じることもあると思いますので、何か工夫をしていかなくてはと考えています。

⇒ 深谷委員) 例えば「一見さんDAY」とかがあれば行きやすくなるが、行くことができる時間が合わなければ難しくなってくる。最初の1回をいかに来やすくさせるかが重要。

⇒ 工藤部会長) 主要施策「スポーツ施設の充実」の内容に色々書かれているので、修正も難しいかもしれないが、実際にどのように実施するのが重要。体育協会でも若い人は入会していなく、価値観がズレてきていると感じている。組織ではなく、サークルに入ってしまう。環境を作ることが重要課題となっている。

⇒ 深谷委員) コロナの影響もあり、ここ数年は個人の活動になると思う。

⇒ 工藤部会長) 活動している子どもに光を当てることも重要。町民も知らないと思うんですけど、実際に箱根駅伝を目指している子どももいて、これからの活躍を楽しみにしている。第2第3の子どもが続くようになればと思っている。また、指導者もほぼボランティアみたいなものなので、手厚い補償ではないですけどサポートが必要と思っている。

⇒ 岩佐委員) 町民大学で講師に来られた先生も湧別中学校陸上部の駅伝全国大会出場は大変すばらしいと褒めていましたよね。

⇒ 工藤部会長) 歩いている人も多いので、距離とか消費カロリーがわかるような看板などがあってもいいのではないかな。

⇒ 深谷委員) いいですね。目安としてそういうのがあっても。

⇒ 工藤部会長) 現状と課題の中に、そういった環境的な充実とかを方向性として、目安とか目標になるものがあるのもいいのではないかな。

⇒ 深谷委員) そうですね。方向性として。

8 (てん末書用紙)

⇒ 工藤部会長) 文言として盛り込んでいただきたい。

【質疑及び審議 (10年後のめざす姿)】 質疑及び意見なし

【質疑及び審議 (主要施策)】 質疑及び意見なし

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見なし

※予定していた計画審議について終了。

6. 次回会議の日程について

事務局から次回会議の日程について提案。次の日程で開催を決定。

第3回教育文化専門部会開催日時：令和3年5月7日(金) 午後5時00分

〃 開催場所：文化センターさざ波 中会議室

7. 閉会